

平成31(令和1)年度事業報告書

特定非営利活動法人サンキューネット

I 事業期間

平成31年4月1日～令和2年3月31日(年間活動日数366日)

II 事業の成果

1 ケアプランセンター

(介護保険居宅介護支援)

- ・ 5月に介護支援専門員実務者研修実習生受入れ体制を整えた。
- ・ 24時間連絡できる体制を作り利用者に周知した。
- ・ 特定事業所加算を取得申請。7月に特定事業所加算Ⅲ、12月に特定事業所加算Ⅱが算定可能となった。
- ・ 常勤介護支援専門員を11月に1名増員。引継ぎ後12月で1名退職。
- ・ 受け入れ人数にまだ余裕があるため、チラシを作成し、地域包括支援センター、医療機関、サービス事業所などに配布した。
- ・ 特定事業所加算の算定要件である会議（利用者に関する情報・サービスに当たっての留意事項に係る伝達・ケアマネジャーとしての資質向上を目的とした会議）を週1回行った。他法人と共同での事例検討会を10月に開催した。
- ・ 毎月、地域包括より委託数名受け入れ、入院やサービス利用なし数名。請求件数はほぼ横ばいの状況ではあるが、他事業所退職者のケースの受け入れなどもあり契約件数は1年前に比べ増加している。

(障がい計画相談支援)

- ・ 計画相談支援で報酬単価の引き下げがあり（障がい児相談支援は単価変更なし）収入面でのマイナスとなったが、障がい児相談支援での利用者人数が伸びた結果、全体としての売上高は前年に対し少しながら増加した。
- ・ 介護保険の加算取得に伴い、兼任ケアマネジャーからの引継ぎを行った。

(ケアプランセンター共通)

- ・ 毎月の定例会にて介護保険居宅介護支援、障がい計画相談支援の双方のサービスについて、地域の動向や制度等の情報交換を行い、ケースについても相談しあうことで質の高いサービスを提供できるように努めた。
- ・ 3月に常勤介護支援専門員兼務障がい計画相談員1名増員。

2 ヘルパーステーション

- ・ 毎月スタッフ研修を行った。
- ・ サービス提供責任者とヘルパー間の連絡体制を強化したことにより、登録ヘルパーさんが事務所に来る回数が増え、意見交換なども活発となった。
- ・ 事務の効率化を図ることにより、スタッフの業務時間の軽減に繋がった。
- ・ 事務所詰ヘルパーの仕事の標準化を図り、チームとしてのフォローアップ体制づくりを行った。
- ・ 見守り訪問では、単なる安否確認だけではなく、利用者から気軽に、しかも信頼して話せる相談機関として定着してきたが、新規利用者の開拓には至らなかった。
- ・ 8月、特定処遇改善加算計画書を南河内広域福祉課に提出し、10月から特定処遇改善加算Ⅰを算定することになった。

- ・ 子育て支援事業は、ヘルパー不足のため、下半期は実施できなかった。令和2年度は実施できない旨、富田林市に報告した。

3 デイサービスセンター

- ・ 平成31年3月、送迎中に同業者に追突されるといったトラブルがあり、4月から全車両にドライブレコーダーを取り付けた。
- ・ 6月、利用者が日々取り組んでおられる写経（般若心経）をとりまとめ、高野山恵光院へ奉納した。
- ・ 7月、人事異動のため管理者が交代した。
- ・ 広島平和記念公園に、レクリエーションで折った千羽鶴を奉納し、平和の願いを届けた。
- ・ フロア内を整理整頓し、大きく模様替えを行った。
- ・ 8月、特定処遇改善加算計画書を南河内広域福祉課に提出し、10月から特定処遇改善加算Ⅱを算定することになった。
- ・ 設備の経年劣化による故障があり、トイレの手洗い場のセンサーや、リフト浴の蛇口の部品交換を行った。
- ・ 10月に契約書の内容を一部変更した。（損害賠償について、ご契約者又はその家族等の行為により従業者に生じた損害賠償については、ご契約者にその損害賠償を請求する場合があると定めた。）
- ・ 消費税が10%に増税され、食費を普通食440円→460円、特別食440円→600円へと改定した。
- ・ 消防訓練をデイセンターで実施し、消防署に結果を報告した。
- ・ 消防用設備等の点検を行い消防署に報告した。
- ・ 頻繁に通ってくれていた利用者様が、病気・ケガ等で入院・入所となり、秋～冬にかけてのセンターの稼働率が著しく下がった。
- ・ ウェルカムドリンクやおやつレクリエーション、誕生日会やお風呂のイベント等の軽度者を対象とした新サービスを導入したが、まだ集客の効果は不明。ただ既存の利用者様にはとても喜んで頂けており、地域住民の方にもサンキューネットは楽しい場所だというイメージが定着してもらえるように今後も努める。
- ・ 12月、日本財団からの平成15年度助成車いす対応車両「三菱ミニキャブ」が経年劣化により動かなくなり、廃車した。代替りの車両として車いす車両エブリイスローパーをリースし補った。(1/18入庫)
- ・ 12月末、常勤看護師と機能訓練指導員の退職が重なり、1月実施分からの中重度者ケア体制加算・個別機能訓練加算Ⅰ・運動器機能向上加算を取り下げた。
- ・ 2/10に常勤の看護師が入職した為、3月～中重度者ケア体制加算が取得可能になり、再開した。
- ・ 個別機能訓練加算Ⅰ・運動器機能向上加算については、専門職の採用に至っていない為、未定。看護職・介護職による機能訓練は引き続き継続して行っている。
- ・ 3月～新型コロナウイルスの対策として、送迎時に利用者様の体温測定を行い、デイ到着後は手洗い・うがい・手指消毒を順次行ってもらった。
- ・ スタッフに不要不急な外出は控えていただく様伝え、マスクや消毒液などの衛生用品が全国的に不足し入手が困難となり、マスクは1人1枚で対応してもらおう等の協力をお願いした。
- ・ 3/4 「24時間テレビ」から、「車いす車両ダイハツ アトレース ローパー」の寄贈を受けた。

- ・ 3月、レーザープロジェクター(120インチ)の寄付があり設置した。
- ・ デイセンター開設以来使用してきたリフト浴の装置に不具合が何度かあり、安全第一の為にリフト浴の装置を入れ替えることとなった。(工事は4月上旬の予定)
- ・ 共生型通所介護(介護保険通所介護と障がい者生活介護を同じ場所で一体的に行う介護サービス)の次年度申請に向けて、事前準備を行った。
- ・ 毎月センター内で研修を行い、業務の見える化等にも取り組んだ。

4 生活支援センター

- ・ 生活支援センターの活動内容を整理し、下記のとおりとした。
- ・ 受講者の減少により、開講の目途が立たない為、介護職員養成研修 初任者研修課程・移動支援従事者研修 全身性課程を本年度より廃止とした。
- ・ 見守り訪問事業は、ヘルパーステーションに移管し事業を引き続き実施した。
- ・ 「さわやか元気クラブ」は、本部事業の地域活動として継続実施し、地域とのつながりの中で、介護予防・相談支援等に取り組んだ。

5 事務局

- ・ 24時間テレビ福祉車両寄贈申し込みをし、選考審査の結果、ダイハツ アトレースローパーの寄贈を受けた。
- ・ 寄付金賛助金は延べ68件あった。
- ・ 頂いた現物寄付は、主にデイセンターで使用の他、支援が必要な方に寄付した。
- ・ 毎月運営会議を開催し、各部門や法人全体の実施状況や見えてきた課題に取り組んだ。
- ・ ホームページの更新はできたが、機関誌の発行はできなかった。

・生活支援センター〔地域活動〕

〔葛城中学校区すこやかネット〕

葛城中学校区すこやかネットの会議・活動に参加し、地域との連携を図った。

〔高辺プラザ〕

長年毎月開催される「高辺プラザ」に参加し、地域の方々との交流を続けてきたことで、営利目的ではない身近な相談機関として認知されている。

〔ちいきつくりたい〕

毎月1回の定例会議に集まり、年間計画のもと地域相談会の企画・運営、ちいきつくりたい便りの発行、事例検討会等を行って、地域福祉のネットワーク化を目指した活動を行った。

ちいきつくりたいのメンバー(富田林市第3圏域 地域包括支援センターけあばる、在宅介護支援センター錦織荘・オレンジ荘、富田林市社会福祉協議会CSW、NPO法人シーシータイミング、NPO法人きんきうえぶ、NPO法人サンキューネット)

〔さわやか元気クラブ〕

さわやか元気クラブは平成19年より、高辺台小学校をお借りして、地域活動の一つとして、体操教室を行い続けています。

体操やレクリエーションを行う場としてだけでなく、例えば、他市から、引っ越してこられた方が体操教室に参加する事で顔見知りが増え、ご近所付き合いのきっかけの場やどこに相談していいのかわからない事を気軽に相談できる場としての役割を担っている。

これまで、色々な方にご協力いただき、休むことなく行っていたが、令和2年に入り、新型コロナウイルスの国内感染が増加に伴い、令和2年3～5月(予定)までさわやか元気クラブの活動を休止することにした。

[他団体との連携・交流]

地域密着型介護老人福祉施設「さえずり」で2ヶ月に1度開催される運営推進会議に出席し、意見交換を行った。

富田林市社会福祉協議会の評議委員会に出席し、他団体代表の方々と交流した。

Ⅲ 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) 居宅サービスに関する事業

この事業では、利用者が要介護状態などとなった場合においても、可能な限り、その居宅において、その有する能力に応じて、自立した日常生活を営むことができるように配慮して、身体介護、その他の生活全般にわたる援助を提供した。

また、総合事業では「介護予防支援」「介護予防ケアマネジメント」のサービス利用者に対して可能な限り支援を要する状態を脱し、また、介護を要する状態にならないよう、共に生活動作を行いながら、利用者の改善の可能性を見つけ、できるだけ利用者が「している生活行為」の幅を広げていくことで、生活機能の向上を図り、利用者と共に利用者の「できること」を発見して引き出し、これを拡大し利用者の主体的な活動と参加を高めることを目指したサービスを提供した。

いずれも地域生活自立支援・法令遵守を基底におき、制度で出来ること・できないことを明確にし、制度外の社会資源を活用したプランを提案するなど、生活に根ざしたサービスとなるよう提供した。

① 介護保険法に基づく指定居宅介護支援・総合事業

内容	要介護者を対象に居宅介護支援サービス(ケアプラン)作成等の提供を、総合事業では、「介護予防支援」「介護予防ケアマネジメント」の受託事業を行った。
実施場所	サンキューネットケアプランセンター
実施日時	1年を通じて実施(9:00～16:45) (但し、原則 土・日・祝・12/29～1/3を除く)
事業の対象者	富田林市・大阪狭山市等にお住まいの介護保険被保険者

	収入	支出	延べ実利用者数
31(令和1)年度	15,591,658円	20,253,127円	1,749 名
30年度	13,187,426円	16,360,599円	1,636 名
29年度	12,511,803円	15,474,488円	1,704 名
28年度	11,575,613円	15,404,674円	1,510 名
27年度	11,173,519円	14,448,828円	1,424 名

31(令和1)年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
予防ケアマネジメント	47	45	46	47	48	47	47	49	47	47	48	48
介護予防支援	31	30	29	29	30	31	32	39	31	32	33	35
要介護1	24	24	25	25	24	27	30	30	28	27	23	23
要介護2	15	14	15	16	15	16	19	20	21	20	19	19
要介護3	13	13	12	12	12	11	11	11	11	14	13	12
要介護4	7	7	8	7	7	7	7	7	6	6	6	6
要介護5	3	6	6	5	4	4	6	6	6	4	4	2
合計	140	139	141	141	140	143	152	162	150	150	146	145

※「介護予防支援」と「介護予防ケアマネジメント」の違い

	介護予防支援	介護予防ケアマネジメント
対象者	要支援1・2の認定を受けた方のうち、予防給付を利用する方。	・基本チェックリストにより「事業対象者」となった方 ・要支援1・2の認定を受けた方の中、介護予防・日常生活支援総合事業のみを利用する方。
利用できるサービス	・予防給付 ・予防給付 + 介護予防・日常生活支援総合事業	介護予防・日常生活支援総合事業のみ
要支援1・2の方の場合、その月に予防給付を利用するかしないかによって、「介護予防支援」と「介護予防ケアマネジメント」が月単位で入れ替わることになります。		

② 介護保険法に基づく指定訪問介護・総合事業

内容	訪問介護・総合事業サービス(介護相当・訪問A)の提供を行った。
実施場所	サンキューネット・ヘルパーステーション
実施日時	1年を通じて実施(9:00～17:00) (但し、原則 日曜日および1/1～1/3を除く)
事業の対象者	富田林市・大阪狭山市等にお住まいの介護保険被保険者ほか

介護保険	収入	支出	延べ利用者数	提供時間数
31(令和1)年度	9,459,902円	9,783,403円	2,924 名	2,803.8 時間
30年度	8,420,450円	8,197,413円	2,805 名	2,686.6 時間
29年度	13,795,747円	12,690,615円	4,304 名	4,355.0 時間
28年度	10,492,286円	9,865,780円	3,431 名	3,487.1 時間
27年度	10,508,989円	15,028,030円	3,472 名	3,183.0 時間

介護相当	収入	支出	延べ利用者数	提供時間数
31(令和1)年度	7,940,052円	8,052,048円	2,231 名	2,165.3 時間
30年度	7,283,374円	7,054,720円	2,157 名	2,088.0 時間
29年度	8,613,822円	7,893,121円	2,690 名	2,586.0 時間
28年度	9,771,009円	9,187,570円	2,803 名	2,724.9 時間
27年度	9,203,998円	6,440,173円	2,303 名	2,296.0 時間

訪問A	収入	支出	延べ利用者数	提供時間数
31(令和1)年度	260,294円	263,965円	105 名	105.0 時間
30年度	263,920円	255,635円	108 名	108.0 時間

31(令和1)年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	12	11	12	12	12	12	14	13	12	10	9	10
要介護2	9	9	8	7	6	5	6	7	8	8	8	8
要介護3	3	3	4	4	4	3	4	4	5	5	5	5
要介護4	2	2	2	2	3	3	2	3	3	2	2	2
要介護5	0	2	2	2	2	1	1	1	2	2	2	1
合計	26	27	28	27	27	24	27	28	30	27	26	26

31(令和1)年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業対象者	2	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2
要支援1	20	20	19	17	17	18	18	16	16	16	15	16
要支援2	17	17	18	20	21	21	20	21	21	21	21	22
合計	39	38	38	38	39	40	39	39	39	39	38	40

③ 介護保険法に基づく指定通所介護・通所介護相当

内容	通所介護・通所介護相当の提供を行った。
実施場所	サンキューネット・デイサービスセンター
実施日時	毎日(9:00～17:00)実施
事業の対象者	富田林市、大阪狭山市、河内長野市、南河内郡太子町・河南町・千早赤阪村、堺市等にお住まいの介護保険被保険者

	介護保険		介護相当	
	収入	支出	収入	支出
31(令和1)年度	66,010,789円	60,859,586円	1,745,806円	1,609,291円
30年度	72,014,868円	66,623,699円	1,527,825円	1,406,499円
29年度	69,788,111円	66,151,874円	1,334,677円	1,262,365円
28年度	70,849,195円	62,759,912円	1,638,331円	1,451,272円
27年度	64,438,893円	61,824,876円	1,654,899円	1,587,767円

通所介護(相当)	31(令和1)年度	30年度	29年度	28年度	27年度	26年度
延べ利用者数	7,491名	8,101名	8,156名	8,256名	7,926名	8,263名

31(令和1)年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	3	4	4	3	4	5	5	5	5	5	5	4
要支援2	4	3	3	3	2	2	2	3	3	3	3	3
要介護1	13	13	12	11	10	11	11	12	12	12	10	9
要介護2	10	10	11	10	9	10	12	11	11	12	15	12
要介護3	20	22	22	22	21	19	15	16	16	17	16	16
要介護4	11	11	12	12	14	13	11	12	14	13	12	12
要介護5	3	3	3	3	1	1	2	4	4	4	3	2
合計	64	66	67	64	61	61	58	63	65	66	64	58

④ 障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービス事業

内容	障がいにより介護の支援が必要な方(身体・知的・児童・精神・難病等)を対象に、ホームヘルプサービス(居宅介護・重度訪問介護・同行援護)およびガイドヘルプサービスの提供を行った。
実施場所	サンキューネット・ヘルパーステーション
実施日時	1年を通じて実施(9:00～17:00) (但し、原則 日曜日および1/1～1/3を除く)
事業の対象者	富田林市・大阪狭山市・堺市美原町等にお住まいで障がい福祉サービス(地域生活支援)受給者証をお持ちの方

居宅介護	収入	支出	延べ利用者数	提供時間数
31(令和1)年度	4,461,634円	4,524,566円	1,074名	1,158.1時間
30年度	5,308,677円	5,142,017円	1,323名	1,409.6時間
29年度	6,418,110円	5,881,119円	1,605名	1,680.0時間
28年度	6,713,253円	6,312,394円	1,904名	1,995.4時間
27年度	5,873,947円	3,975,798円	1,580名	1,784.0時間

重度訪問介護	収入	支出	延べ利用者数	提供時間数
31(令和1)年度	320,772円	325,297円	53名	108.5時間
30年度	500,276円	484,571円	115名	201.8時間
29年度	1,836,200円	1,680,773円	380名	625.0時間
28年度	523,831円	492,551円	131名	204.8時間
27年度	450,963円	442,809円	156名	166.0時間

同行援護	収入	支出	延べ利用者数	提供時間数
31(令和1)年度	484,849円	495,856円	49名	156.5時間
30年度	304,306円	294,752円	32名	123.5時間
29年度	413,286円	378,707円	56名	192.0時間
28年度	352,221円	331,189円	52名	176.3時間
27年度	436,969円	488,188円	60名	199.0時間

移動支援(ガイド)	収入	支出	延べ利用者数	提供時間数
31(令和1)年度	421,000円	426,938円	144名	209.3時間
30年度	822,000円	796,194円	245名	408.0時間
29年度	731,500円	670,297円	163名	346.0時間
28年度	805,150円	757,073円	187名	775.5時間
27年度	732,400円	837,744円	169名	354.0時間

31(令和1)年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
居宅介護	19	20	20	17	16	16	16	16	15	17	16	16
重度訪問介護	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1
同行援護	1	2	1	2	1	2	3	3	3	2	0	2
移動支援(ガイド)	4	3	4	3	3	2	3	3	3	3	3	2
合計	24	25	25	23	21	21	23	23	22	23	20	21

⑤ 障害者総合支援法に基づく指定特定相談支援事業

内容	障がいにより介護が必要な方の在宅支援のため、適切な福祉サービス利用ができるよう、サービス等利用計画(案)の作成・計画相談支援等を行った。
実施場所	サンキューネット・ケアプランセンター
実施日時	9:00～17:00 但し、原則 日曜日・祝日および12/30～1/3を除く
事業の対象者	主に富田林市にお住まいの障がい者

	収入	支出	延べ利用者数	年度末実利用者数
31(令和1)年度	5,632,788円	7,439,713円	409名	78名
30年度	5,774,020円	7,608,677円	366名	74名
29年度	6,094,525円	7,225,941円	407名	74名
28年度	5,274,954円	7,050,898円	345名	74名
27年度	3,892,906円	6,334,169円	247名	47名

実績請求件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
31(令和1)年度	34	36	33	36	35	35	38	30	32	35	34	32
30年度	31	28	26	25	33	31	32	33	29	35	33	30
29年度	36	30	34	31	38	39	35	35	30	34	31	34
28年度	20	23	26	24	25	35	30	31	31	34	34	32
27年度	23	17	17	19	17	23	22	17	22	24	22	24

⑥ 児童福祉法に基づく指定障害児相談支援事業

内容	障がいにより介護が必要な方の在宅支援のため、適切な福祉サービス利用ができるよう、サービス等利用計画(案)の作成・計画相談支援等を行った。
実施場所	サンキューネット・ケアプランセンター
実施日時	9:00～17:00 但し、原則 日曜日・祝日および12/30～1/3を除く
事業の対象者	主に富田林市にお住まいの障がい者

	収入	支出	延べ利用者数	年度末実利用者数
31(令和1)年度	2,575,800円	3,392,444円	165 名	20 名
30年度	1,411,966円	1,842,424円	106 名	13 名
29年度	838,106円	993,555円	65 名	9 名
28年度	581,358円	720,471円	38 名	7 名
27年度	66,756円	89,655円	4 名	4 名

実績請求件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
31(令和1)年度	13	11	14	12	12	16	15	13	15	16	13	14
30年度	8	7	10	7	5	10	6	5	13	13	9	13
29年度	6	3	5	4	3	8	5	5	7	5	5	9
28年度	1	4	3	1	3	3	2	3	5	4	3	6
27年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1

⑦ ホームヘルプサービスに伴う特定旅客運送事業
実績なし

⑧ 市町村福祉施策に基づく受託事業

1) 高齢者見守り訪問事業

内容	富田林市からの受託事業。 家に閉じこもりがちの方、見守りが必要な方などを訪問して、安否の確認を行ったり、相談や話し相手などを通して、介護予防や必要なサービスに繋ぐなど、他機関との連携を行った。
実施場所	サンキューネット・ヘルパーステーション
実施日時	月曜日から金曜日9:00～17:00 (但し富田林市役所のカレンダーに準ずる年始年末及び祝祭日休み)
事業の対象者	富田林市民で高齢者見守り訪問を給付決定された方

見守り訪問	収入	支出	延べ利用者数
31(令和1)年度	147,000円	149,642円	111 名
30年度	243,400円	525,477円	299 名
29年度	976,149円	976,149円	342 名
28年度	314,000円	498,063円	385 名
27年度	349,600円	1,373,613円	433 名

2) 認定調査

内容	市町村からの調査依頼に基づき、介護が必要な方のお宅に訪問し、要介護(要支援)認定・障がい認定区分の調査を行った。
実施場所	サンキューネット・ケアプランセンター
実施日時	月曜日から金曜日(但し年始年末及び祝祭日休み)

介護保険	収入	支出	延べ件数
31(令和1)年度	840,600円	1,083,035円	210 件
30年度	455,880円	561,721円	113 件
29年度	734,020円	901,178円	186 件
28年度	664,800円	884,133円	157 件
27年度	769,100円	994,547円	195 件

障がい	収入	支出	延べ件数
31(令和1)年度	128,378円	169,079円	23 件
30年度	290,800円	379,455円	49 件
29年度	268,400円	317,269円	45 件
28年度	149,200円	184,901円	23 件
27年度	290,400円	390,016円	49 件

4) 育児ヘルパー派遣事業

内容	富田林市からの受託事業。 妊娠中または出産後で、心身の不調等により一時的に家事や育児が困難な家庭に、育児ヘルパー派遣を行った。
実施場所	サンキューネット・ヘルパーステーション
実施日時	月曜日から金曜日(但し年始年末及び祝祭日休み)

育児ヘルパー	収入	支出	延べ訪問回数
31(令和1)年度	50,000円	50,705円	13 回
30年度	120,000円	116,232円	39 回
29年度	124,000円	113,809円	34 回
28年度	26,000円	24,450円	13 回

⑨ 制度外在宅福祉サービス

1) たすけあい訪問サービス

内容	“困った時はお互い様”の精神のもと、公的福祉制度や介護保険制度で対応できないサービスについて要介護者・要支援者を支援し、ご家族の支援を含めた視点で、自立支援をベースとした訪問サービスの提供を行った。また、成年後見人や日常生活自立支援事業の金銭管理を受けておられる方で、ヘルパーの買物支援が必要な方の金銭を預り、入出金の記録(領収書添付)をまとめ、報告義務者宛に報告を行うといった支援も行った。
実施場所	サンキューネット・ヘルパーステーション
実施日時	1年を通じて実施(9:00～17:00) (但し、原則 日曜日および1/1～1/3を除く)
事業の対象者	富田林市、大阪狭山市等にお住まいの方

	収入	支出	延べ利用者数	提供時間数
31(令和1)年度	770,880円	781,752円	340 名	328.0 時間
30年度	1,087,800円	1,053,650円	483 名	544.3 時間
29年度	1,632,050円	1,495,500円	768 名	937.0 時間
28年度	1,516,800円	1,426,231円	687 名	864.8 時間
27年度	1,599,962円	2,335,095円	677 名	836.0 時間

2) たすけあいデイサービス

内容	“困った時はお互い様”の精神のもと、必要な方に必要なサービスを提供できるよう、介護保険限度枠を超えて要介護者を支援し、ご家族の支援を含めた視点で、地域生活自立支援をベースとしたデイサービスやお食事の提供を行った。また緊急時や必要な時にいつでも利用できるお泊りサービスを実施。介護保険給付限度枠内の通所ご利用者の食事提供も行っている。
実施場所	サンキューネット・デイサービスセンター
実施日時	1年を通じて実施(9:00～17:00)
事業の対象者	富田林市、大阪狭山市等にお住まいの方

	31(令和1)年度	30年度	29年度	28年度
収入	4,626,570円	4,674,830円	4,551,500円	4,875,611円
支出	4,264,792円	4,303,597円	4,296,734円	4,318,932円
延べ利用者数	デイ 68名	デイ 39名	デイ 14名	デイ 21名
	ショート 771名	ショート 902名	ショート 798名	ショート 1,183名

* デイ延べ利用人数は、限度枠内デイサービス食事提供者数を除いた人数

(2)リサイクルに関する事業
実績なし

(3)本会の目的を達成するための研修・啓発など
実績なし

⑩ 本部

	1. 「さわやか元気クラブ」を毎月定点で実施し、地域とのつながりの中で介護予防・相談支援等に取り組んだ。 (参加者延べ125人)
	2. 富田林市第3圏域「地域づくりたい」に協働参加し、包括支援センター等との連携を図り、地域支援を行った。定例会議(毎月)・出張相談会・事例検討会・広報紙作成等を共に行った。
	3. 毎月開催される「高辺プラザ」に参加し、地域の方々との出会いを通して、地域に密着した相談支援機関として活動した。

IV 総会の開催状況

① 第20回定期総会

1. 日時 令和1年5月18日 19:00～20:30
2. 場所 サンキューネット・デイサービスセンター
3. 社員総数 53名
4. 出席者数 53名 (内委任状出席者43名)
5. 議案の内容
 - ① 平成30年度事業報告及び収支決算報告、並びに監査報告
 - ② 平成31(令和1)年度予算案・事業計画案について
 - ③ 任期満了に伴う役員理事・監事改選について
 - ④ 議事録署名人の選出の件
6. 審議結果
全員異議なく承認。

V 理事会その他の会議の開催状況

1. 平成31年度理事会

- ①
- 1) 日時 平成31年4月28日 9:00～10:30
 - 2) 場所 サンキューネット加太事務所
 - 3) 理事総数 7名
 - 4) 出席者数 7名(内委任状出席2名)
 - 5) 内容
 - 1、30年度活動計算書
 - 2、平成31年度予算案及び事業計画書案の件
 - 3、任期満了に伴う役員理事・監事改選の件
 - 4、4月職員の配置転換について報告
- ②
- 1) 日時 令和2年3月8日 9:00～10:30
 - 2) 場所 サンキューネット加太事務所
 - 3) 理事総数 7名
 - 4) 出席者数 7名(内委任状出席1名)
 - 5) 内容
 - 1、平成31年度活動計算書・事業報告書、令和2年度活動予算書案・事業計画書案の進捗状況について
 - 2、慶弔費・見舞金規定 改定案について
 - 3、通所介護の人事について
 - 4、処遇改善給付金・特定処遇改善給付金について
 - 5、事業報告書の「事業の成果」、事業計画書の「事業の実施方針」について
 - 6、読売テレビ放送「24時間テレビ」から、令和2年3月4日車いす車両ダイハツアトレスローパーの贈呈を受けた
 - 7、平成15年度日本財団からの助成車両「三菱ミニキャブ・スローパー」老朽化の為、令和1年12月に廃車し、令和2年1月17日に車いす車両「エブリースローパー」(リース)が、納車された。
 - 8、リコーの大画面プロジェクターの寄付を受け、令和2年3月12日に設置される予定
 - 9、共生型通所介護の申請について
現在運営している通所介護の場所で、障がい者の生活介護サービスを一体的に運営する事業の申請をし収入の安定化を図りたい。
 - 10、ドライブレコーダーを法人全車両に整備した。(事故対応の為)
 - 11、富田林市受託事業「子育て支援事業」の来年度契約についてヘルパー不足により、令和2年度の契約はしない
 - 12、富田林市受託事業「見守り訪問事業」の来年度契約について従事者がけがの為、1月から3月まで休止状態となっている。今後新たな従事者の見込みがないため、市役所に相談することとなる
 - 13、慢性的な赤字について
2月の運営会議にて問題提起し、各部門管理者が事務長と共に改善案を打ち出した。

2. 運営会議

年間を通して毎月1回定期開催

メンバー； 事業ごとの管理者、サービス提供責任者

内容；

各部門の事業実績報告、今後の取組みなど、情報交換を行っている。

各部門間の相談・助言の場としても機能している。

3. 定例会

各事業部門毎に、年間を通して毎月1回定期開催

メンバー； 各事業部門のスタッフ

内容； 運営会議の報告、意見交換、情報交換、研修等を行っている。